

令和元年度第1回 愛西市子ども子育て会議 会議録（概要）

会 議 名	令和元年度第1回 愛西市子ども子育て会議
開 催 日 時	令和元年8月8日（木）午後2時00分から午後3時30分まで
開 催 場 所	愛西市役所 南館1階 会議室1-4
出 席 者	別紙のとおり
欠 席 者	佐藤言葉委員
議 事 等	<p>●議事</p> <p>(1) 会長の選任について</p> <p>(2) 副会長の指名について</p> <p>(3) 第2期愛西市子ども・子育て支援事業計画（素案）について</p> <p>(4) 第2期愛西市子育て応援プラン（素案）について</p> <p>(5) 今後のスケジュールについて</p>
公開/非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	0人
会 議 資 料	<p>資料1 愛西市子ども子育て会議設置要綱</p> <p>資料2 第2期愛西市子ども・子育て支援事業計画(素案)</p> <p>資料3 愛西市子育て応援プラン 2020 - 2024 ～子どもと親と地域と一緒に成長していくために～ (素案)</p> <p>資料4 第2期愛西市子ども・子育て支援事業計画等策定のスケジュール (案)</p>
審 議 経 過	別紙のとおり

愛西市子ども子育て会議委員

役 職	氏 名	備 考
委員	吉村 讓	
〃	渡邊 祐香理	
〃	佐藤 言葉	欠席
〃	諏訪 淑子	
〃	山北 茂代	
〃	堀田 真吾	
〃	吉川 哲也	
〃	青木 夕紀子	
〃	藤原 昭子	
〃	大江 千恵子	
〃	黒田 意津美	
〃	佐合 理枝	
〃	飯野 大輔	

事務局

役 職	氏 名	備 考
健康福祉部長	伊藤 裕章	
子育て支援事業担当 部長兼児童福祉課長	中野 悦秀	
健康福祉部参事	兼子 利雄	
児童福祉課 課長補佐	伊藤 義幸	
課長補佐	佐藤 安成	
主査	堀田 紫津子	
主査	木村 純子	
主事	麻西 志保	

審議経過

発言者	内容（概要）
事務局	<p>開会</p> <p>この会議については、公開となっているが、本日の傍聴はなし。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員自己紹介 ・事務局自己紹介 <p>愛西市子ども子育て会議について資料1に基づき説明</p>
事務局	協議事項（1）会長の選出について
委員	<p>会長に吉村讓委員を推薦 （異議なし）</p>
会長	<p>会長あいさつ</p> <p>協議事項（2）副会長の指名について 副会長に渡邊祐香理委員を推薦 （異議なし）</p>
副会長	副会長あいさつ
会長	協議事項（3）第2期愛西市子ども・子育て支援事業計画（素案）について事務局から説明をお願いします。
事務局	資料2に基づき説明
会長	委員の皆様から意見、質問はありますか。
委員	愛西市で行っている子ども食堂の頻度や宣伝の方法について聞きたい。
事務局	<p>平成29年度から、児童福祉課と社会福祉協議会が共催して、佐屋・佐織地区で開催。今年度はそれぞれ5回ずつ開催予定。他にボランティア主催のところが2か所あるので、合計4か所でやっている。</p> <p>周知方法としては、該当する地区へチラシを回覧している。ボランティア主催の子ども食堂はチラシと、参加者の口コミで広がっている。</p>
委員	市で実施している子ども食堂の参加者はどれぐらいなのか。
事務局	佐織地区については、1回あたり20～30人。佐屋地区については、12人～15人くらいが平均人数。佐屋地区については、昨年度から開催をしているため今後参加者が増えていくと思われる。

委員	開催するためのボランティアが足りていない現状もあると思うので、広報等で周知する際には、一緒にボランティア募集についても載せるといいかと思う。
会長	チラシには子ども食堂の意義についてどのように載せているか。
事務局	子どもの貧困対策という形での名目では行っているが、チラシには日程とぜひご参加くださいという文面をつけて回覧をしている。
会長	子ども食堂を広く知ってもらう、という意味でPRという事か。
事務局	参加している子どもたちの話から、市でできる支援は何かを意識しながら開催をしている。
委員	1食の値段はどのぐらいか。
事務局	参加費については、子どもが1人100円、大人が1人400円。
会長	協議事項（4）第2期愛西市子育て応援プラン（素案）について事務局から説明をお願いします。
事務局	資料3に基づき説明。
委員	評価については委員が行っているのか。
事務局	プロジェクトチーム及び各担当課で行っている。
委員	市民として認知している人はどのぐらいいるのか。いいプランがあるのに知られてないのはもったいない。実際に子育てをしている親が感じているものが本当の評価だと思う。 小学校や保育園でプランについての認知や評価についてアンケートをとったことがあるのか。
事務局	応援プランは職員目線での評価であるが、事業計画策定に先駆けて、昨年度ニーズ調査を市民の方にアンケートを行った。その結果をもとに計画の策定を進めていく予定。
委員	母親・父親になる前に児童館・支援センターでの支援についての知識が全くないまま親になってしまい、子育て中でも市や支援センターでやっている行事の認知度が深まっていない現状がある。そのため、親になる前の義務教育の段階で、知識を習得できるカリキュラムを考えるために、学校教育課と児童福祉課が連携してほしいと思う。

事務局	このような事業については広報等で周知しているが、あまり認知されていないと感じている。妊娠されて、母子健康手帳交付等の手続きで来庁される時等などに、周知をしていきたいと思う。今後もよりよいものになるために各課で連携していきたい。
会長	母子保健法では母子健康手帳交付から赤ちゃん訪問、養育支援事業が一連の流れで位置づけされている。子育て世代包括支援センターが開設されてからどんな人からどんな相談があるのか、また愛西市での子育て世代包括支援センターの中身について教えて欲しい。
事務局	愛西市では、今までにも様々な母子保健事業を実施。子育て世代包括支援センター設置後からは、母子健康手帳の交付を母子コーディネーターで実施している。リスクが高い家庭については、その場で地区担当保健師につなげている。子育て世代包括支援センターでの相談については、児童福祉課を例に挙げると、小中学生の不登校や引きこもりなどの相談が親や学校関係者からある。子育て世代包括支援センターが開設されて2年が経つが、小中学生の支援についての課題がみえてきた。今後充実させるための検討をしていきたい。
会長	子育て世代包括支援センターで様々な相談ができると思うので、今後より充実させて欲しいと思う。実践報告書を作るのも1つの方法かと思う。
委員	応援プランは国が定めているものなのか、愛西市独自でやっているのか。
事務局	子ども・子育て支援事業計画というのは国の指針によって定められたものであるが、子ども子育て応援プランは、愛西市独自で作成したもの。
委員	子ども医療の部分は入っていないのか。
事務局	子ども医療については応援プランではなく、事業計画に入れている。事業計画や応援プランの在り方や評価などについて、意見を参考にしていきたい。様々な立場の方が会議に参加しているため、それぞれの立場で子育てについての意見が聞きたい。
委員	幼稚園でも虐待や発達障害など、様々な問題を抱えている家庭があるが、その家庭の子と接することで市の支援や相談先があることを知った。なかなか市民の人には、どんな支援があるのか分かりにくいと思った。
委員	保護者の方の意見もしっかり受け止めながら、子どもたちにとって幸せな保育ができるようにしていきたい。
委員	愛西市は保育料が安い等、保護者支援も充実しているが人口が増えていな

	<p>い。子育て環境を充実させるのと同時に、保護者の声、地域の声を聞きながら街づくりにも目を向けていかないといけない。</p> <p>近隣の市では待機児童も出ている市もあるため、若い人が住むためには何が必要なのか考えて欲しい。</p>
委員	<p>市の人口は減少しているが、共働きの家庭は増えている。そのため、児童クラブを利用する方の数は増えている現状が出てきている。そういった方にも目を向けて欲しいと思う。</p>
委員	<p>子育て支援事業が充実している事を知ったので、これから親になる方にも知ってもらうことが大切だと思った。</p> <p>母親クラブも母親ではなく父親でも、これから親になる方でも参加できる内容であるが、周知がされていない現状がある。参加する事が目的ではなく、知っているだけでも安心感につながるのではないかと思った。</p>
委員	<p>子どもに発達障害があっても、市としての支援がみえなくて苦しんだ。ロコミとか他の市町村での事業を知り、参加していたが、愛西市での事業も困っている人達にも知ってもらえるといいと思った。</p>
委員	<p>不登校などの相談が多いと聞いたので、学校教育課の方も参加した方がいいと思った。引きこもりなど中学までは市で把握ができていますが、高校の方の把握ができないので、そういう方でも相談できる場所や働き方の相談を市で取り組みをして欲しい。</p>
委員	<p>周知で広報に載っている事業もあるが、忙しくて見ていない人や自治会に入っていないと配られず、自ら取りに行かないといけないなどで、広報を目にするタイミングがない人もいる。周知の仕方も広報に載っているだけではいけないと思った。</p>
委員	<p>今4人の子育てをしているが、子育て支援が手厚くなっていると感じた。ただ、高校生の子やその親の相談する場所が欲しい。中学を卒業すると難しいことだとは思いますが、思春期の子と向き合いながら悩んでいる親はいる。高校に行けない子の支援をすることで、やがて働いて結婚して、子どもを産んでと市としてもよい方向に繋がる。子育て世代包括支援センターが、乳児期から大きくなっていくお子さんとその親が、相談できる場所になってほしいと思う。</p>
委員	<p>子育てをする中で愛西市の環境はとてもよいと思う。しかし良さが伝わりづらい。事業を変えたり新しく立ち上げるときには、市民に認知してもらうまで動かないといけない。</p> <p>愛西市の課題としては、税収が愛知県内ワースト2位であること。まずはこれからの人口は子どもたちなので、少子化問題に取り組んでいかないといけない。応援プランも子育てをしている人が引っ越ししたくなるような</p>

委員	<p>プランニングをするためにも、今住んでいる人の声を聞くべき。市民が本当に喜ぶ事業をしなくてはいけない。</p> <p>障害者地域総合支援協議会に出席しているが、今後児童発達支援センターができる予定。子育て世代包括支援センターとは課が違うが連携できないかと思う。</p> <p>良い取り組みはたくさんしているが、もっと若い親にも幅広く知ってもらうための方法を考えないといけない。</p>
会長	<p>協議事項（５）今後のスケジュールについて事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料４に基づき説明。 （質問なし） 次回の会議については11月上中旬に開催予定。</p>
会長	<p>閉会のあいさつ</p>